

国道4号 <sup>おおひら</sup>大衡地区  
第1回意見聴取

— クロス集計結果 —

平成26年 11月4日 東北地方整備局

## 目次

## 参考 1. クロス集計結果【住民アンケート】

<b>属性別分析</b>	1 居住地別	．．．	3
	2 年齢別	．．．	4
	3 職業別	．．．	5
<b>利用頻度・移動手段・利用目的分析</b>	1 居住地別	．．．	6
	2 年齢別	．．．	7
	3 職業別	．．．	8
<b>その他集計</b>	1 利用頻度・利用目的	．．．	9
	2 移動手段	．．．	10
<b>課題分析</b>	1 居住地別	．．．	11
	2 年齢別・利用頻度別・移動手段別・利用目的別	．．．	12

## 参考 2. クロス集計結果【企業・団体アンケート】

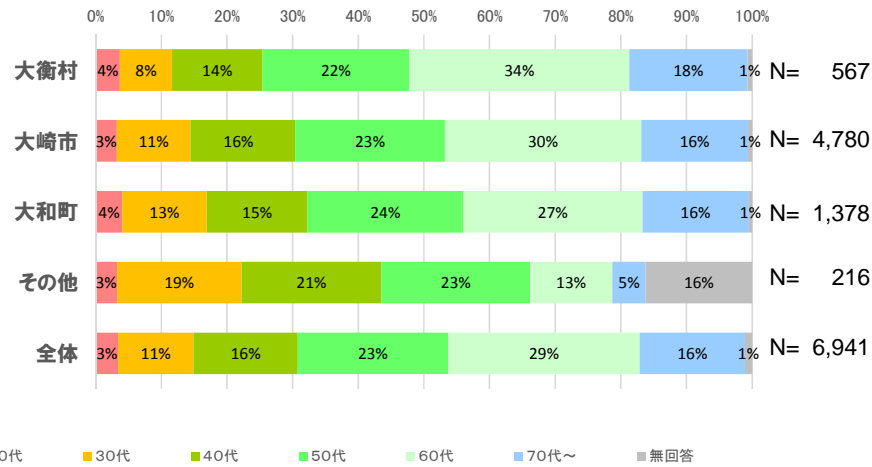
<b>課題分析</b>	1 業種別	．．．	14
	2 利用目的別・利用頻度別	．．．	16

## 参考1. クロス集計結果【住民アンケート】

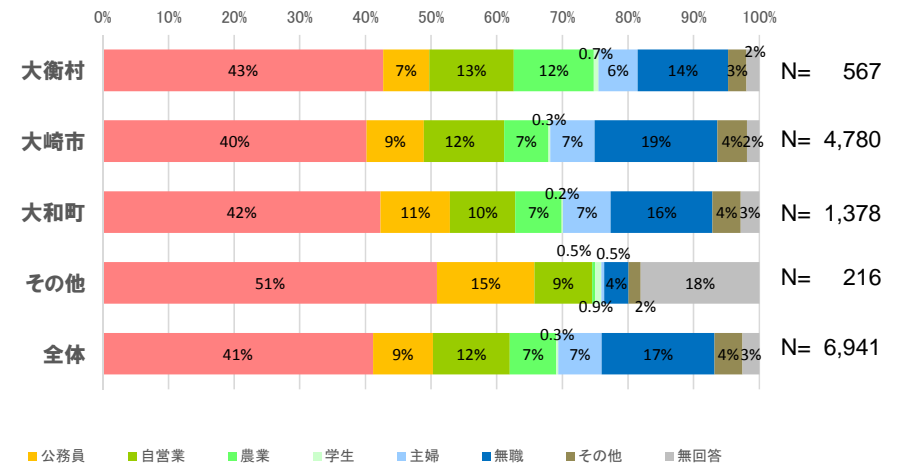
# 住民アンケート 属性別分析1 居住地別

- ◆居住地別年齢は、他の地区と比べ大衡村の60代以上の割合が多い。
- ◆居住地別の職業、性別に関する属性の偏りはない。

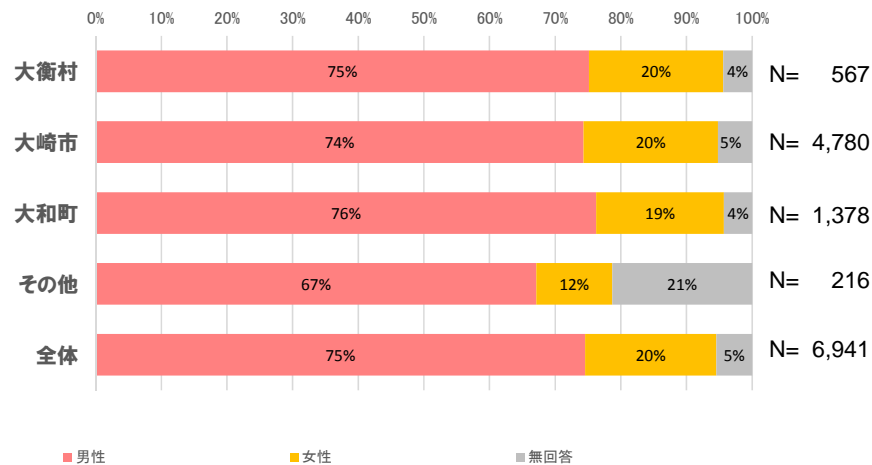
【居住地×年齢】



【居住地×職業】



【居住地×性別】

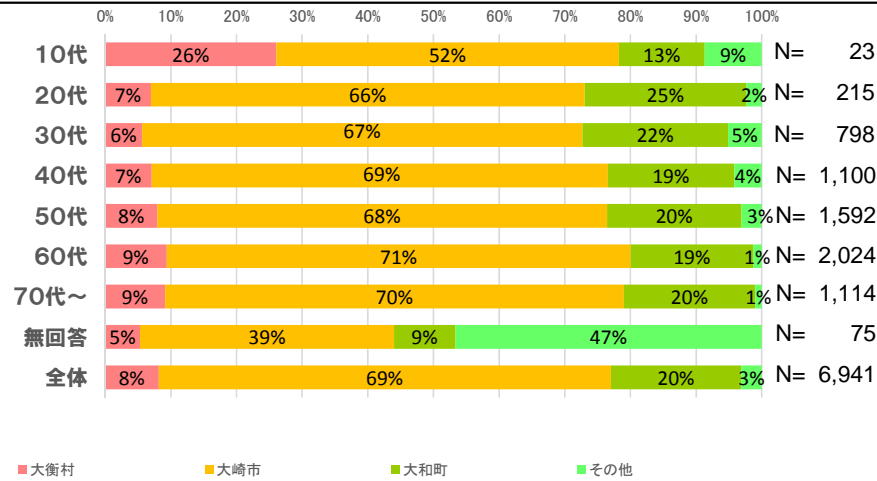


※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

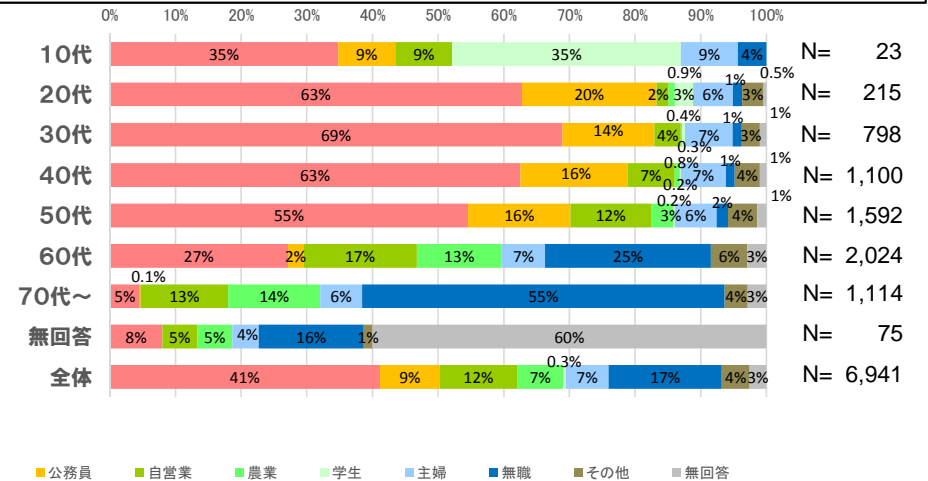
# 住民アンケート 属性別分析2 年齢別

- ◆年齢別居住地は、10代で大衡村の割合が多い。
- ◆年代が上がるほど女性の割合が少ない。
- ◆20代～50代の5割以上が会社員。

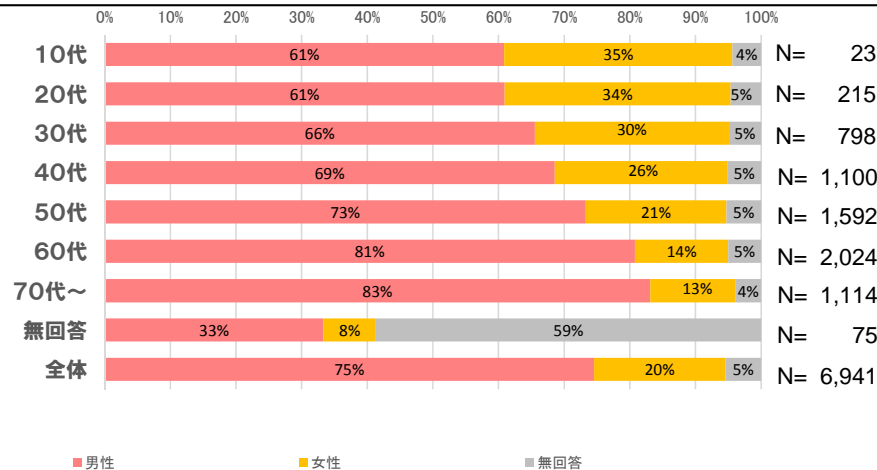
【年齢×居住地】



【年齢×職業】



【年齢×性別】

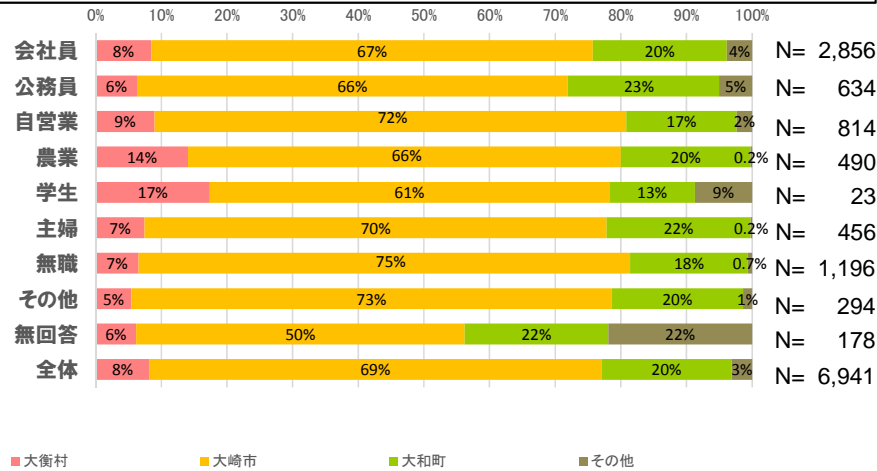


※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

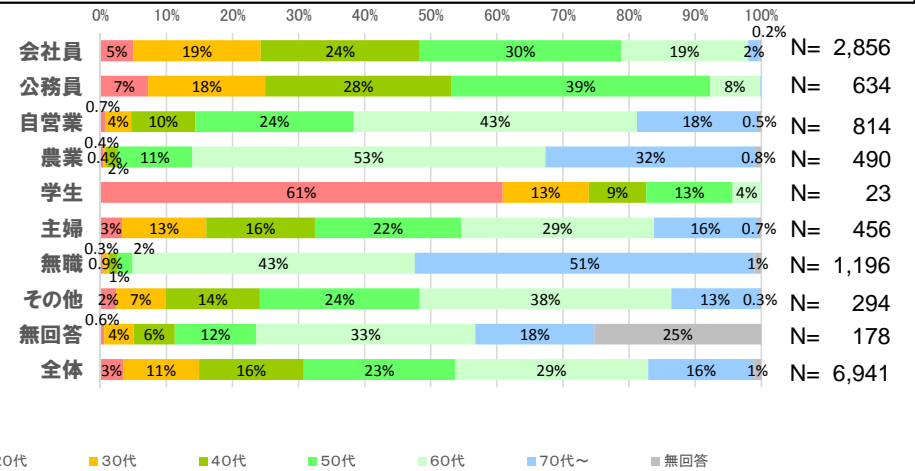
# 住民アンケート 属性別分析3 職業別

- ◆職業別居住地は、農業や学生で大衡村の割合が比較的多い。
- ◆職業別年齢は、自営業や農業で60代以上の割合が多い。
- ◆職業別性別は、会社員、公務員、自営業、農業の8割程度が男性。

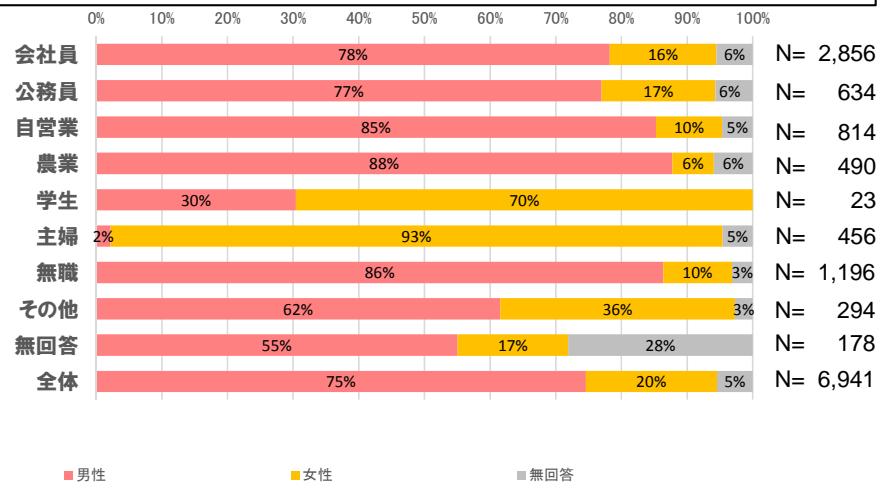
【職業×居住地】



【職業×年齢】



【職業×性別】

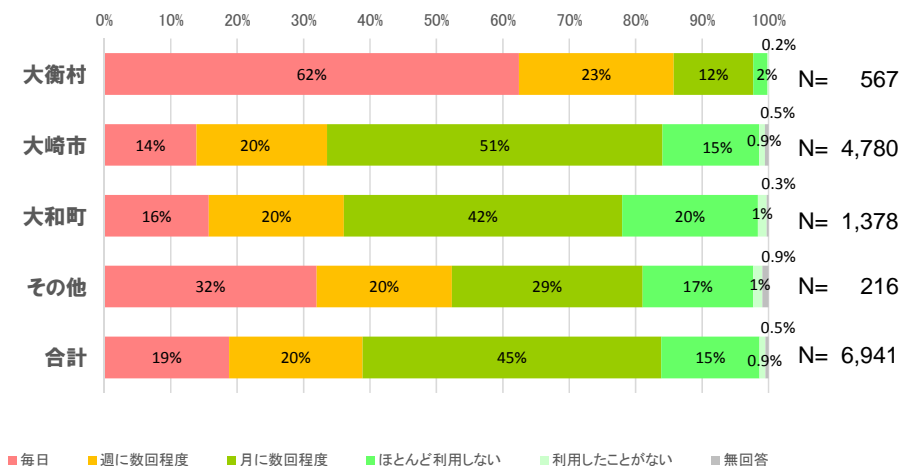


※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

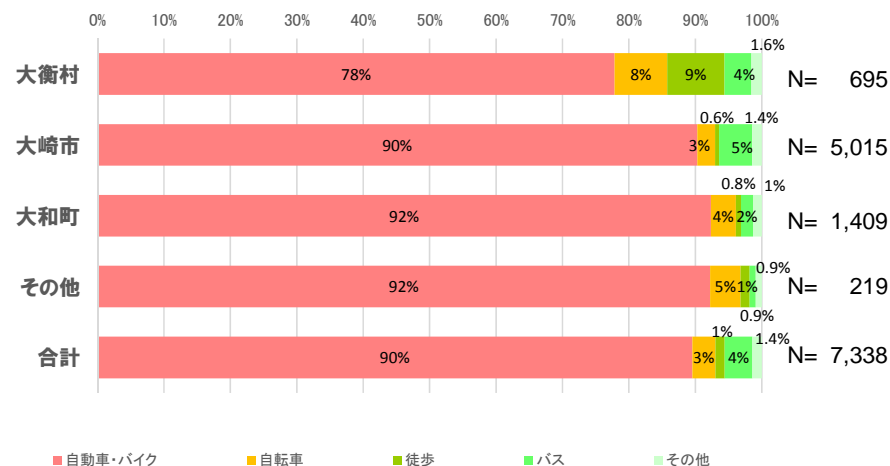
# 住民アンケート 利用頻度・移動手段・利用目的別分析1 居住地別

- ◆居住地別利用頻度は、大衡村で利用頻度が高い（週に数回程度以上の利用）割合が多い。
- ◆居住地別移動手段は、居住地によらず自動車・バイクが8割程度以上と多い。
- ◆居住地別利用目的は、大衡村で通勤、通院の割合が多い。

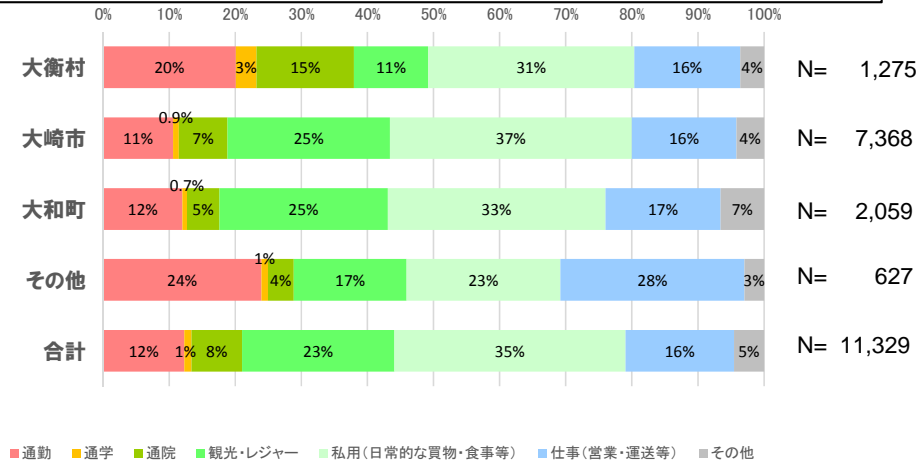
【居住地×利用頻度】



【居住地×移動手段】 ※複数回答



【居住地×利用目的】 ※複数回答

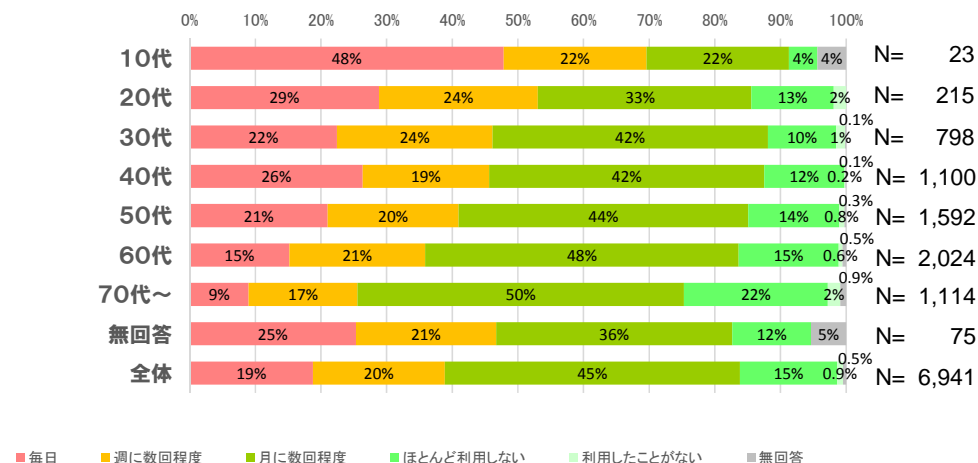


※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

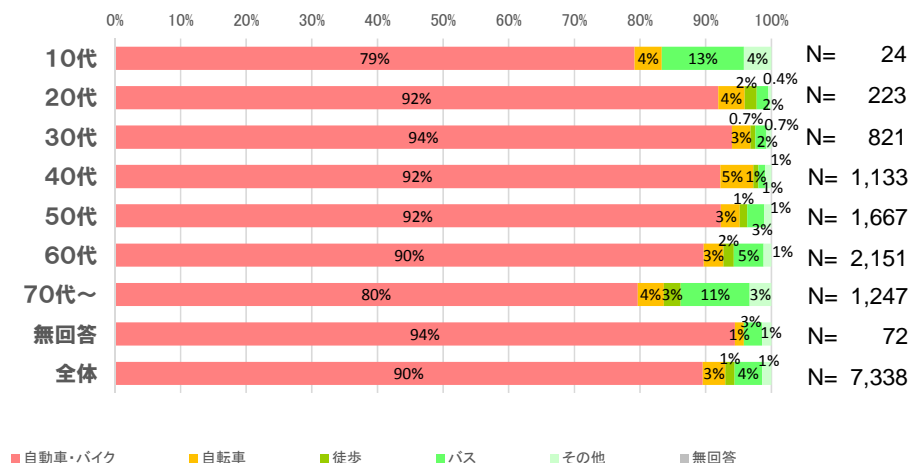
# 住民アンケート 利用頻度・移動手段・利用目的別分析2 年齢別

- ◆年齢別利用頻度は、年代が上がるほど利用頻度が低く（週に数回程度以上の利用割合が少なく）なる傾向。
- ◆年齢別移動手段は、20代～60代で自動車・バイクが9割以上と多い。
- ◆年齢別利用目的は、年代によらず観光・レジャーや私用が5割程度。

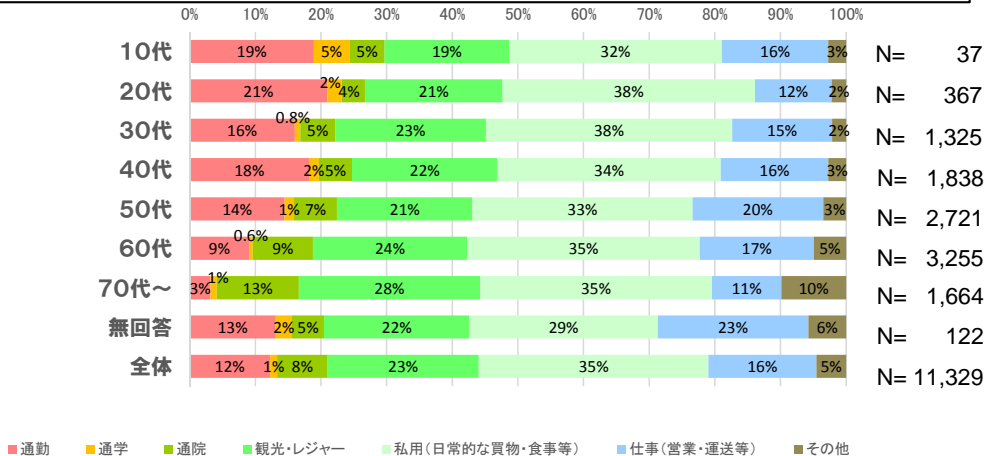
【年齢×利用頻度】



【年齢×移動手段】 ※複数回答



【年齢×利用目的】 ※複数回答



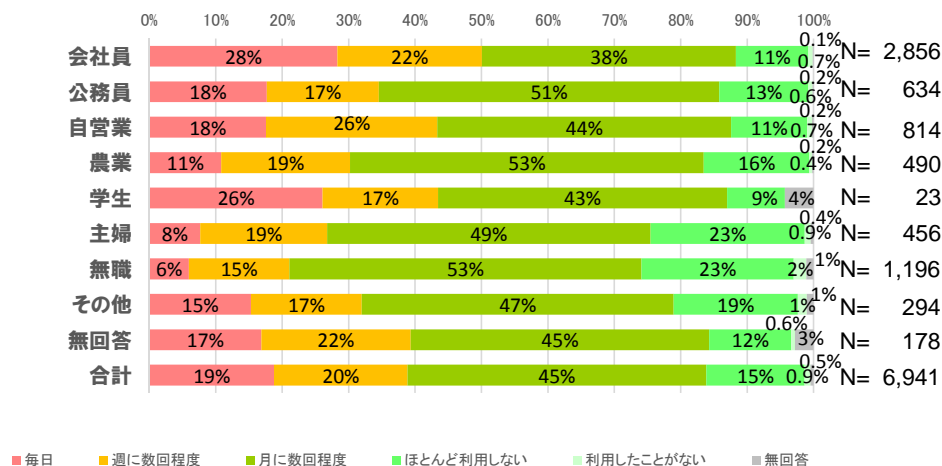
※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。



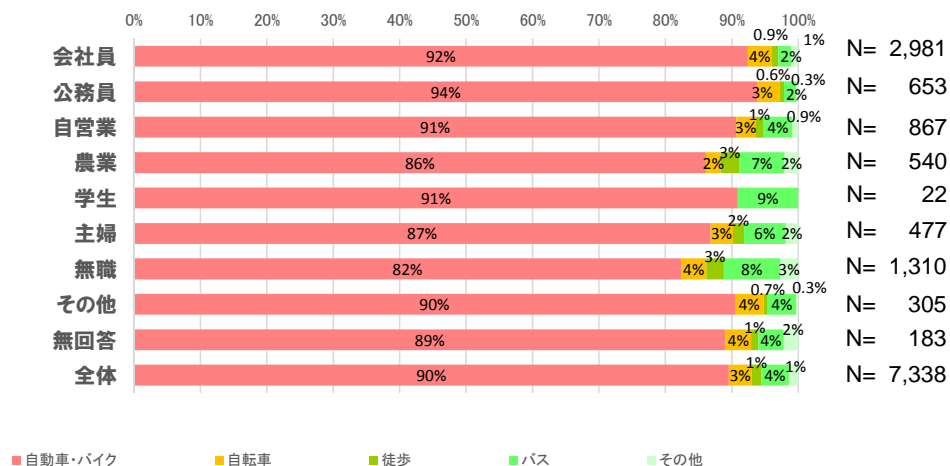
# 住民アンケート 利用頻度・移動手段・利用目的別分析3 職業別

- ◆職業別利用頻度は、会社員や学生の利用頻度が高い（週に数回程度以上の利用）割合が多い。
- ◆職業別移動手段は、会社員、公務員、自営業、学生が自動車・バイクが9割以上と多い。
- ◆職業別利用目的は、利用目的によらず観光・レジャーや私用が5割程度。

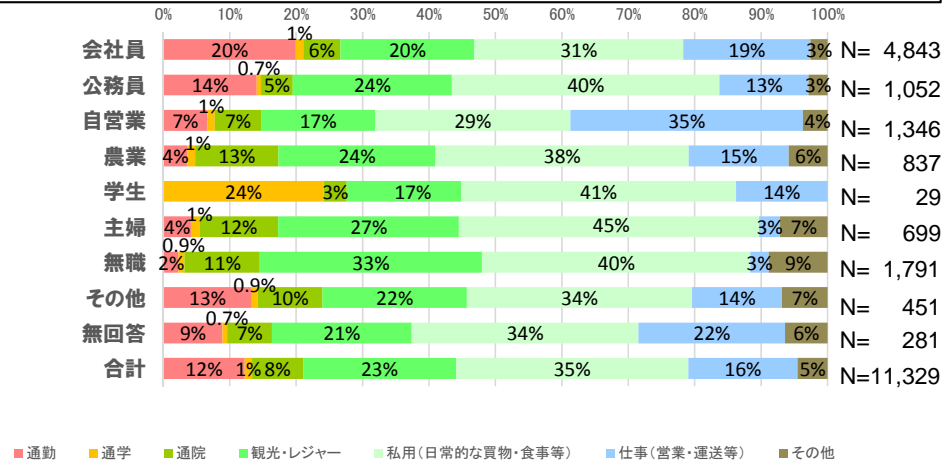
【職業×利用頻度】



【職業×移動手段】 ※複数回答



【職業×利用目的】 ※複数回答

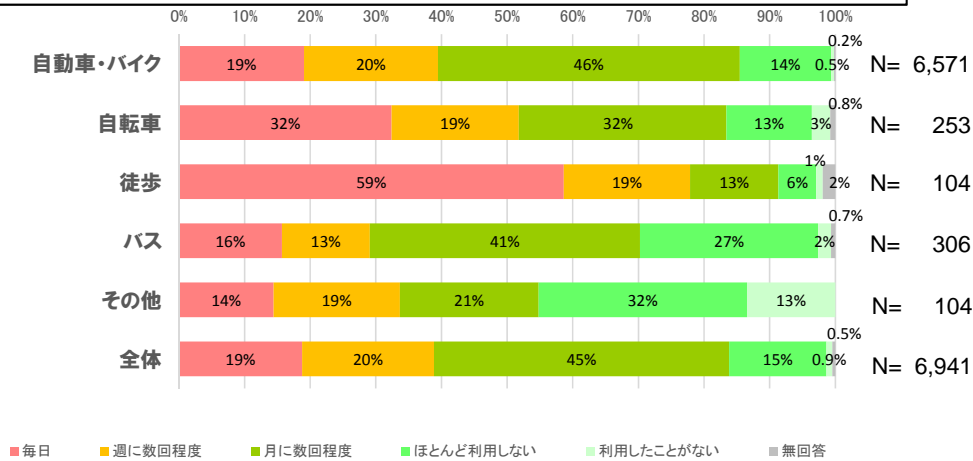


※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

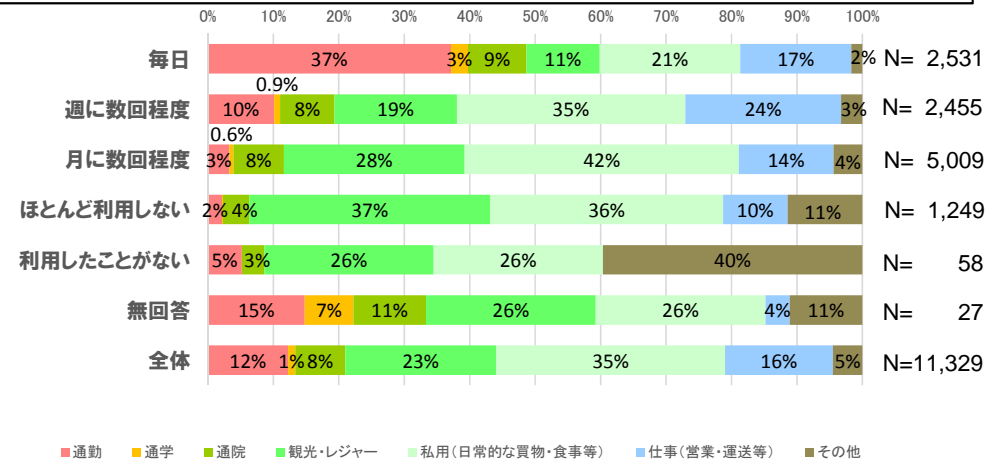
# 住民アンケート その他集計1 利用頻度・利用目的

- ◆移動手段別利用頻度は、徒歩の利用頻度が高い（週に数回程度以上の利用している）割合が多い。
- ◆利用目的別利用頻度は、通勤、通学、通院、仕事の利用頻度が高い（週に数回程度以上利用している）割合が5割以上と多い。

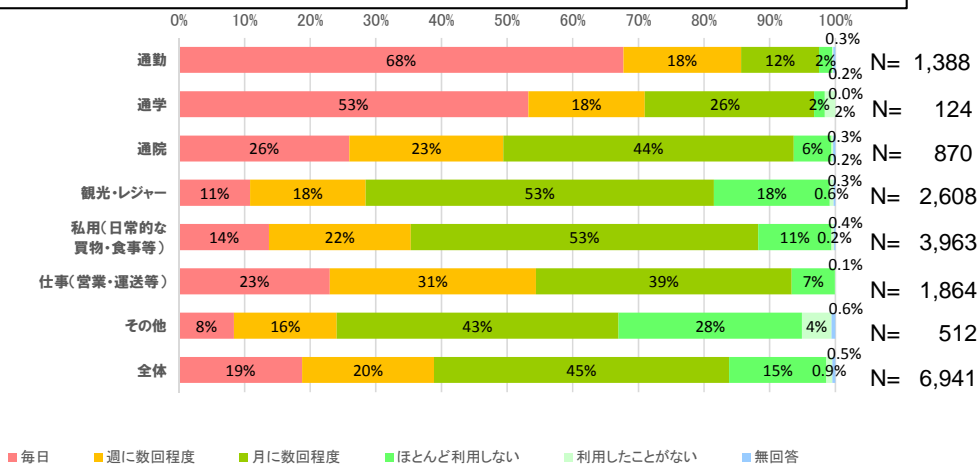
【移動手段×利用頻度】※複数回答



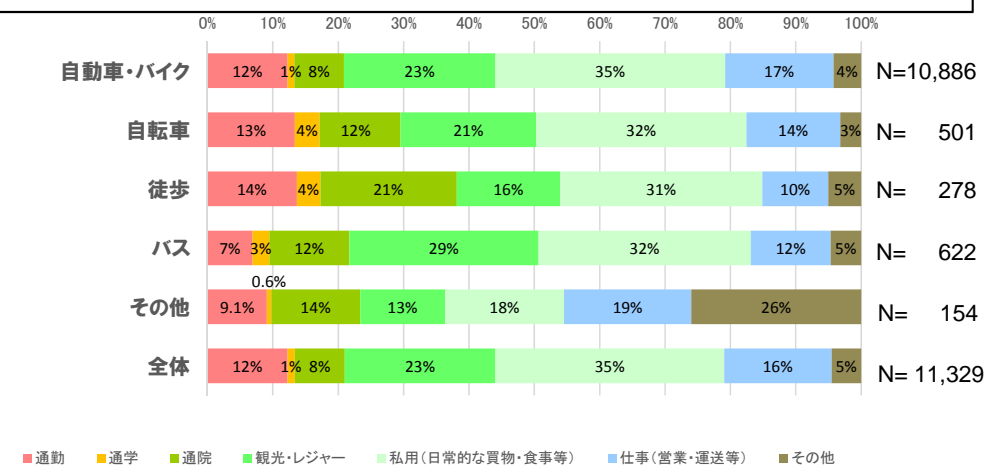
【利用頻度×利用目的】※複数回答



【利用目的×利用頻度】※複数回答



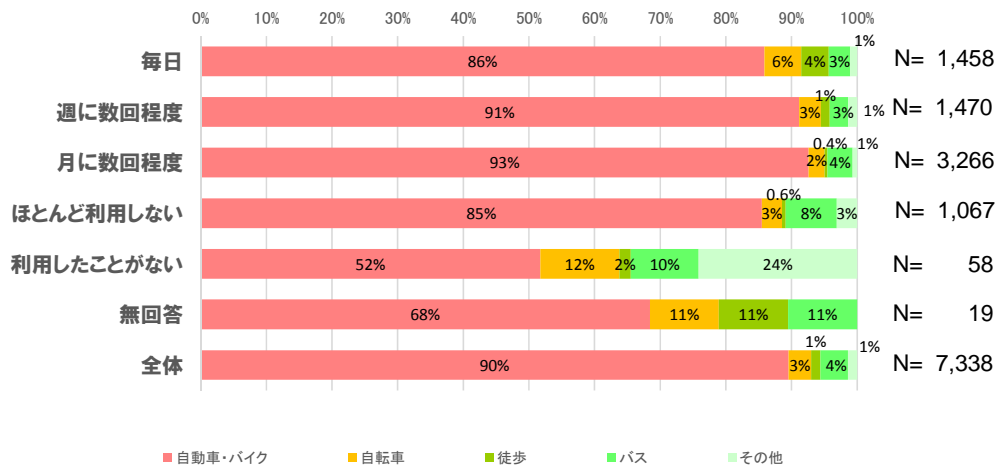
【移動手段×利用目的】※複数回答



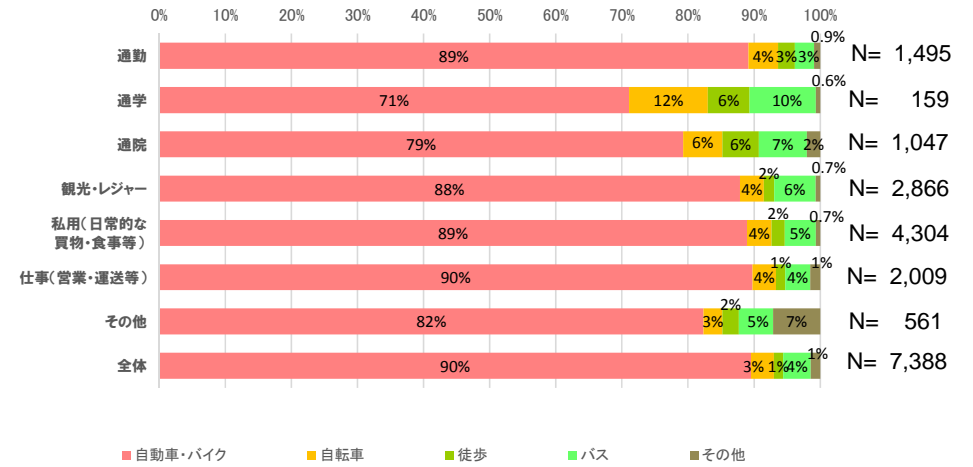
※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

- ◆利用頻度別移動手段は、利用頻度が高いほど徒歩の割合が多い。
- ◆利用目的別移動手段は、通学の自転車、徒歩、バスの割合が多い。

【利用頻度×移動手段】 ※複数回答

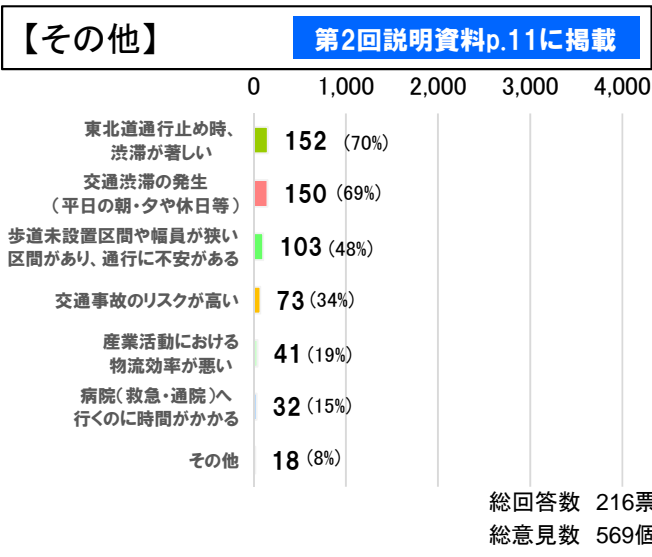
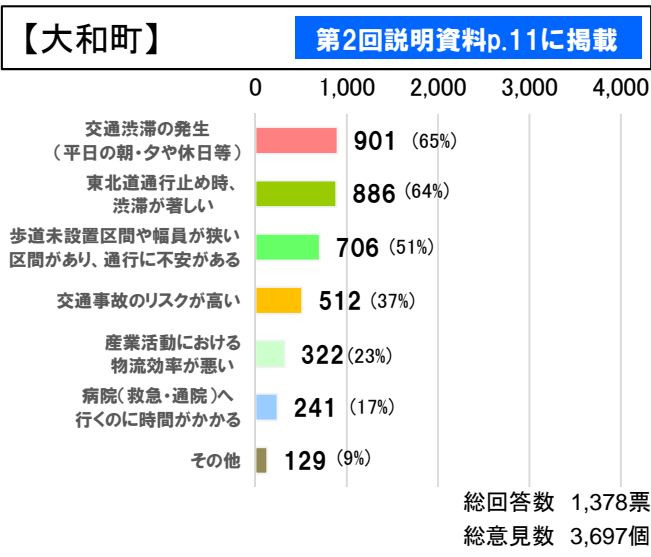
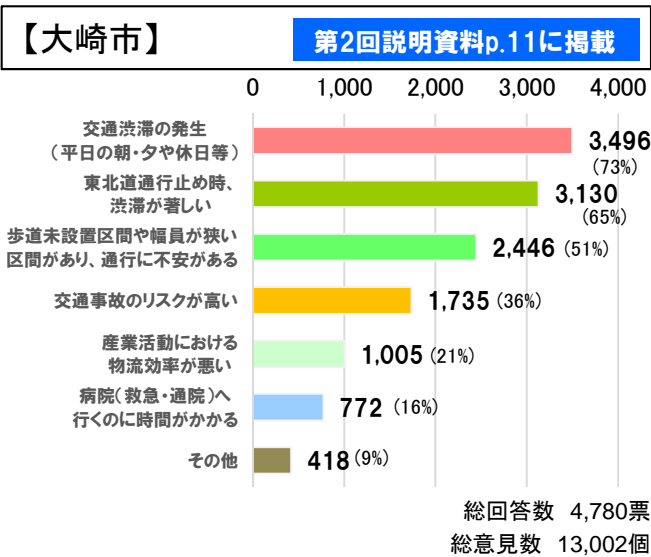
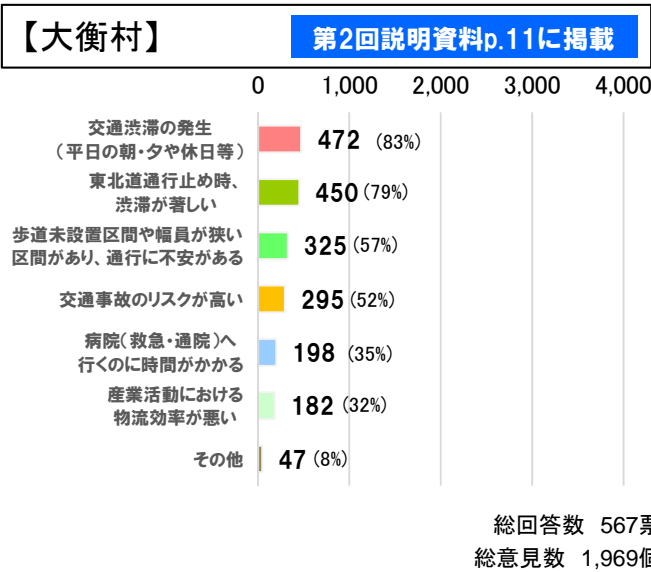
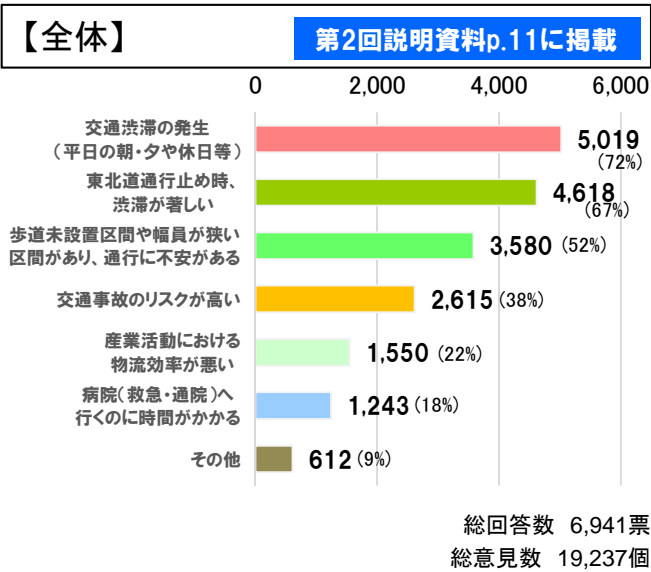


【利用目的×移動手段】 ※複数回答



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

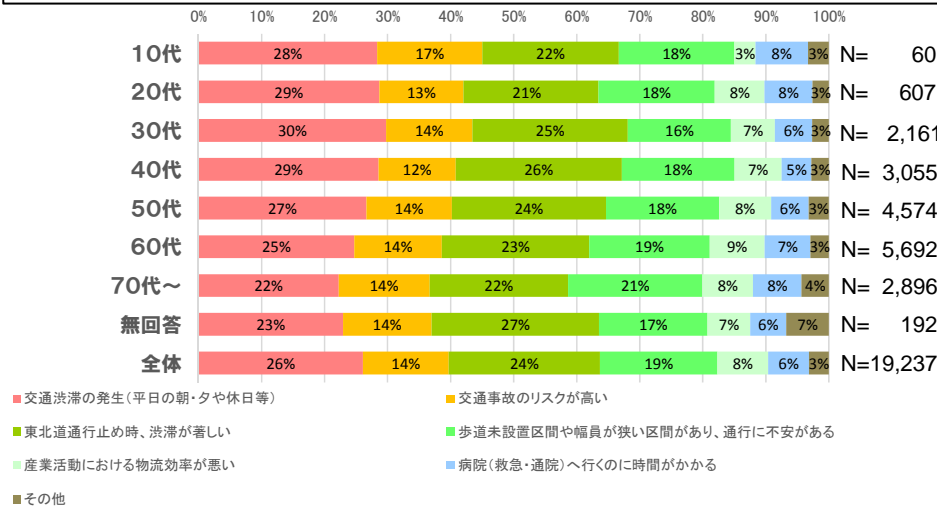
- ◆大衡村は、「交通渋滞の発生」や「東北道通行止め時の渋滞」の回答が約8割と多い。
- ◆また、大衡村の「歩行空間への不安」「交通事故のリスクが高い」「病院へ行くのに時間がかかる」「産業活動における物流効率」の回答についても、他の地区と比べ割合が多い。



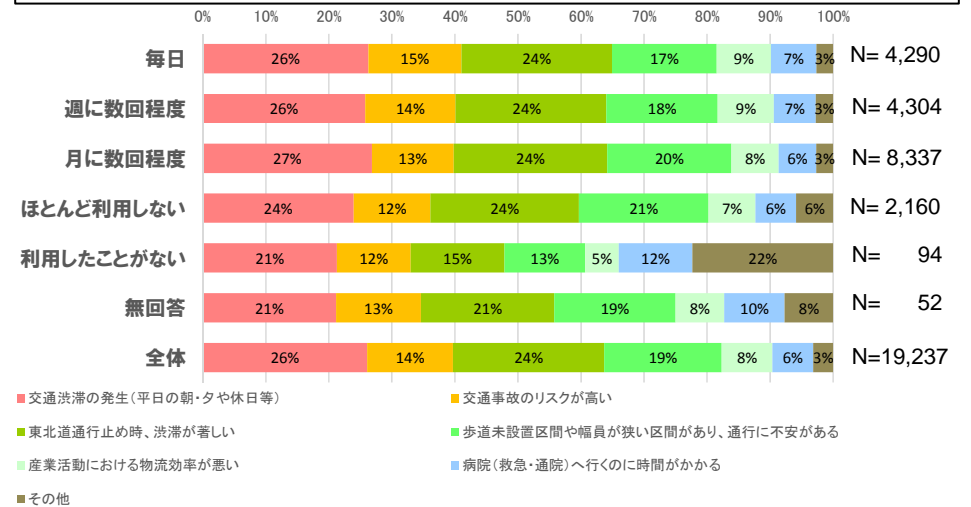
※割合は総回答数に対する回答数

- ◆年齢別課題は、年代が上がるほど「交通渋滞の発生」や「交通事故のリスクが高い」の割合が少ない。
- ◆利用頻度別の課題は、月に数回程度以上の利用において概ね同じ傾向。
- ◆移動手段別課題は、自動車・バイクの渋滞関連の割合が比較的多い。
- ◆利用目的別課題は、通院以外で概ね同じ傾向。

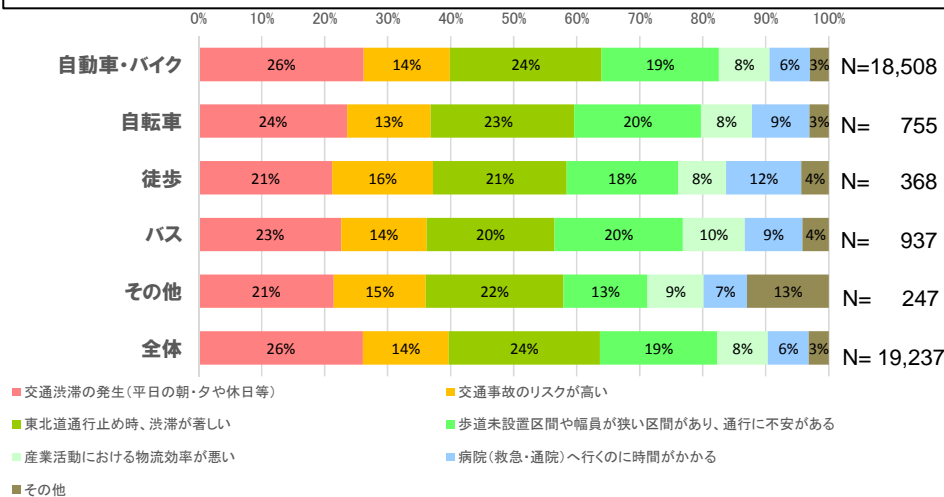
【年齢×課題】



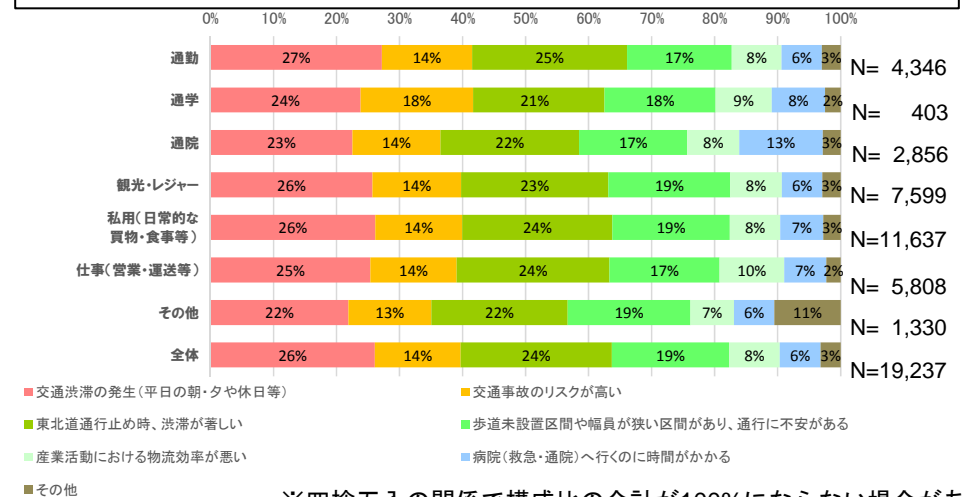
【利用頻度×課題】



【移動手段×課題】 ※複数回答



【利用目的×課題】 ※複数回答



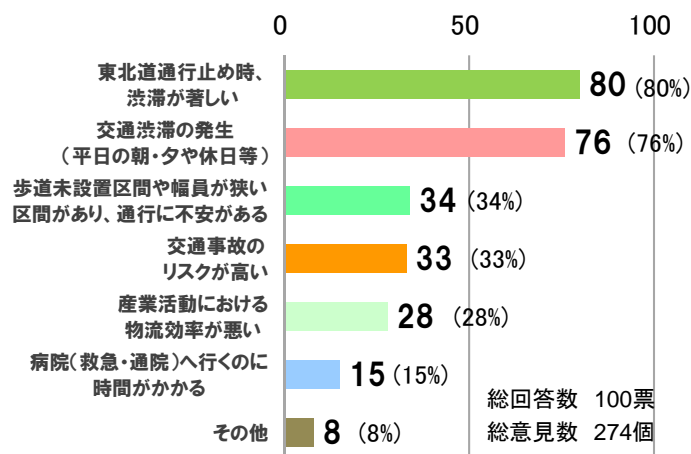
※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

## 参考2. クロス集計結果【企業・団体アンケート】

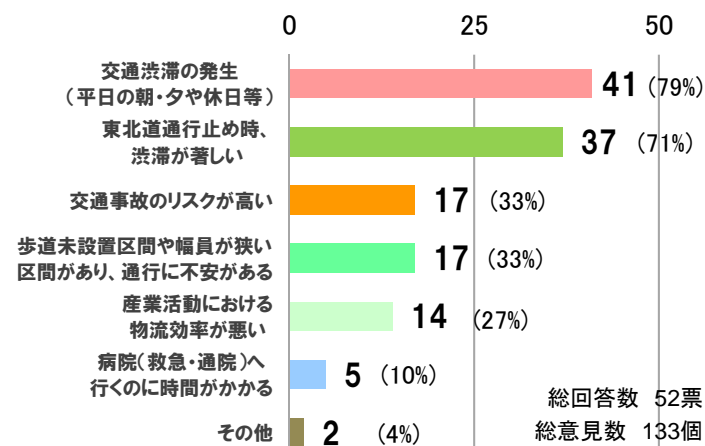
- ◆製造業と物流業は概ね同じ傾向にあり、「交通渋滞の発生」と「東北道通行止め時の渋滞」の回答が約7割以上。
- ◆製造業と物流業は「交通事故のリスクが高い」「歩行空間への不安」の回答が3～4割程度。

## 【全体】

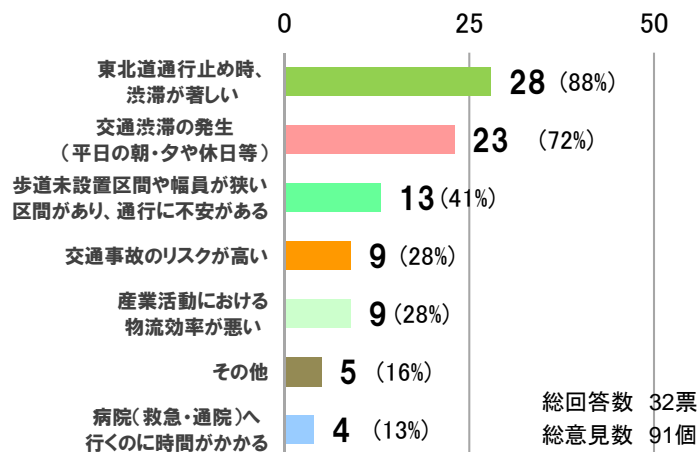
第2回説明資料p.17に掲載



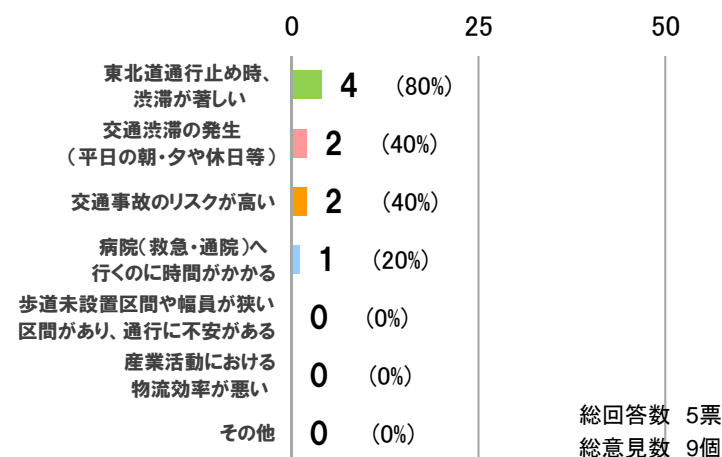
## 【製造業】



## 【物流業】



## 【観光施設】

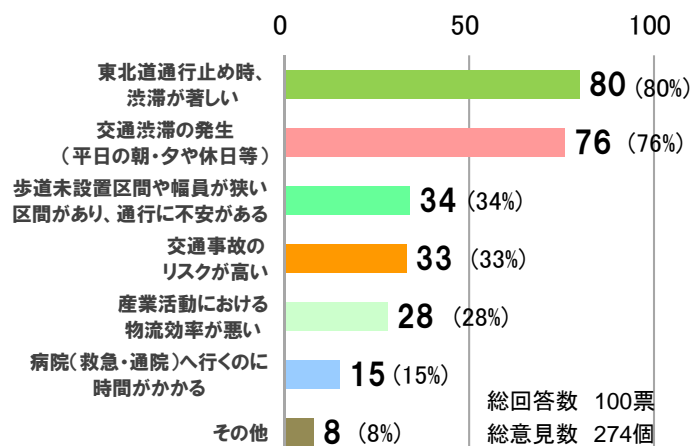


※割合は総回答数に対する回答数

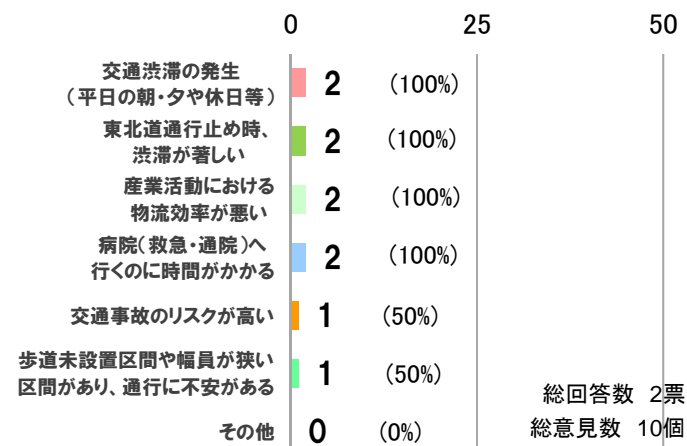
◆農業、公共交通機関、救急機関はサンプル数が少ないが、「交通渋滞の発生」と「東北道通行止め時の渋滞」の回答が多い。

## 【全体】(再掲)

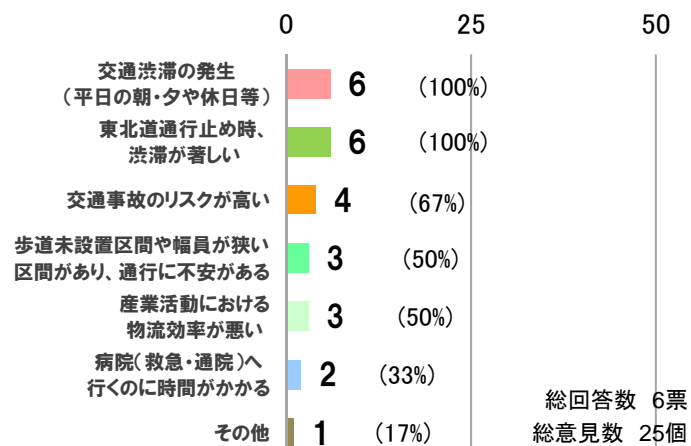
第2回説明資料p.17に掲載



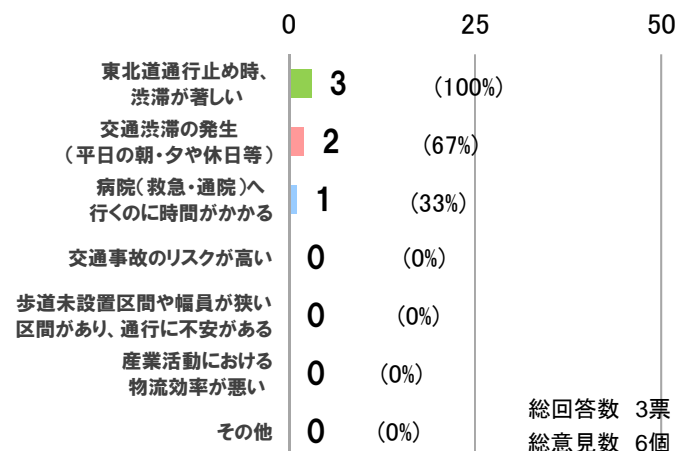
## 【農業】



## 【公共交通機関】



## 【救急機関】

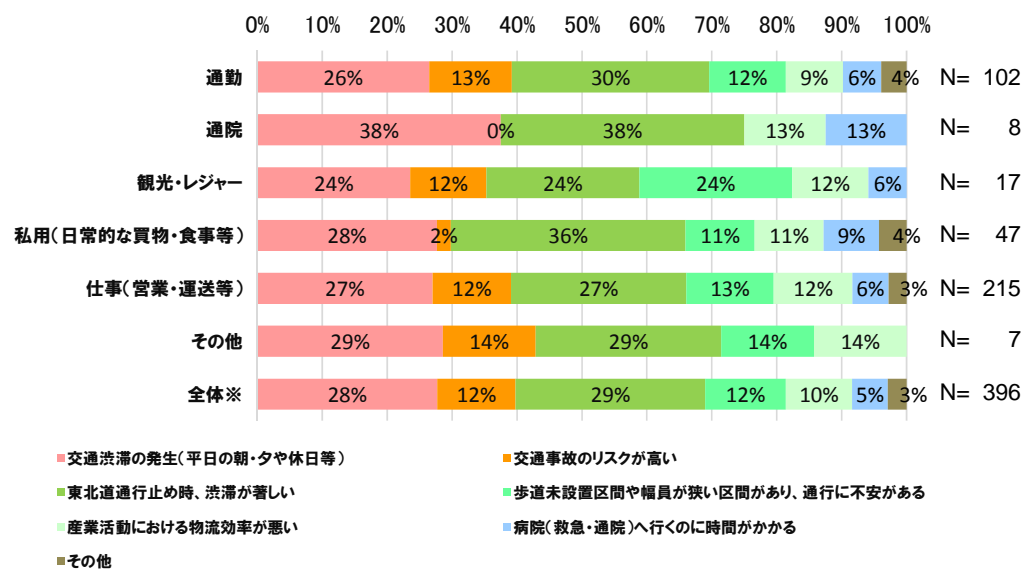


※割合は総回答数に対する回答数



- ◆ サンプル数が多い通勤と仕事は概ね同じ傾向にあり「交通渋滞の発生」と「東北道通行止め時の渋滞」の回答が多い。
- ◆ 「東北道通行止め時の渋滞」の回答は利用頻度によらず概ね同じ傾向。

【利用目的×課題】 ※複数回答



※通学は回答がないため非表示とした。

【利用頻度×課題】

